

議会だより

とらえこ

G I K A I D A Y O R I
2018.2.1

No. **121**
第4回定例会【12月】

CONTENTS

12月定例会概要報告.....	P2
一般質問ダイジェスト.....	P3-5
視察・研修報告／編集後記.....	P6

かま ぶち
東栄の滝：釜 淵
(中設楽下柿野地内)

釜淵はポットホールのひとつで、長い年月の間に、くぼみに入った小石などが川底を削り、くぼみが大きくなって淵となった。3つの淵があり、地元では一番大きなものを青淵と呼んでいる。国道151号、明治橋付近から眺めることができる。

12月定例会

概要報告

「病院の公営化決定!!」

12月議会定例会は、7日から18日までの会期で開かれ、提出された議案等を慎重に審議し、いずれも原案どおり可決しました。

提出議案のうち、東栄病院を公営化するための関連条例については、賛否が分かれ、討論が行われました。

病院関連条例 討論

〈賛成7人、反対2人
で原案可決〉

反対討論

森田昭夫

議会で病院の公営化を表明して一度も議論をしていない。医療機関の構想、規模等の決定前に、職員採用は今後の財政に大きな不安を残す。

執行部と議会は十分な議論を行い、町民の皆様に公表・公開してから結論を導くべきである。公営化決定前に病院は解散を決め、執行部は職員の面接を行っている。

議会は執行部が暴走しないようにブレーキをかける責務があり反対する。

山本典式

総合計画には「病院の段階的縮小」「無床診療所」との記述はどこにもされていない。この計画は昨年スタートしたばかりで、掲げた目標をおろすには、いかにも早すぎる。今回の議案提出はまったく唐突なものであり、病院の段階的縮小に併せたものと考え反対する。

賛成討論

村本敏美

東栄病院の公設公営に関する議案が可決されなければ、公設公営に向けた職員採用手続きができず、平成30年4月1日以降病院の運営ができなくなる。何より一番困るのは病院の存続を願う住民であり、町の医療を守るためにも賛成する。

加藤彰男

病院の公設公営化は、町当局とせせらぎ会との協議が進められ、せせらぎ会も理事会評議員会で法人の解散手続きを確認している。

今年度末に向けて、機構や職員の体制を遅滞なく進めることは行政の責任でもあり、行政が住民の方々へ医療福祉を今後も保障する基本的な制度設計でもある。上程されている一連の議案に賛成する。



常任委員会

総務経済委員会

問 なぜ「町づくり基本条例」が必要か。

答 「理念条例」で何かを変えたいというものはない。少子高齢化の進展で今までと同じような「まちづくり」は難しくなってきたので、多様な意見を聞くため。

問 何も変わらないなら人を拘束したり決めたりすることは少ないほうがよい。町長のパフォーマンスと言われないか。

答 小学校の机・椅子24万9千円の説明を。来年度新入学時は22名を見込んでいたが、転入などで29名になる予定で増額予算とした。

文教福祉委員会

答 条例で明文化することで皆が意識を共有し方針として頂きたい。

問 介護職員就職助成金20万円増額の説明を。

答 就職1年目は20万円、2年目は10万円、4名分50万円を見込んだが、1年目の方が増えたため増額予算とした。

問 小学校の机・椅子24万9千円の説明を。

答 来年度新入学時は22名を見込んでいたが、転入などで29名になる予定で増額予算とした。

山本典式 議員

医療センター施設整備に関する 基本構想等の中間報告を受けて

問 医療センター施設整備については、早くには「現状維持に努めたい」との方向で進めていたのが、一転して「病院は段階的に縮小し、やむを得ない場合は無床診療所もあり得る」との厳しい報告があった。現状は大変だが、逆に努めて少しでも改善し整備充実を図る事が多くの町民の願いでもあり、応えるべきところではないか。そこで病院関係のことについて質問をする。

考え、経営状況も踏まえ公設公営に決断した。

容を説明しご理解いただいたと思っ

問 今回の中間報告は、結論ではないと理解している。又具体的に進める事については、議会の事前了解が必要と思

うがこの点どうか。

問 最上位の計画、総合計画には「病院の段階的縮小、無床診療所もあり得る」との記述はどこにもない。目標は「効率的で質の高い医療の確保に努める」又「指定管理者制度の継続」としているが、どうか。

問 厳しい現状は東栄町だけでは無い。総合計画には「努力する」とあるが、この計画は昨年スタートしたばかり、掲げた目標を断念するのは残念に思う。この点はどうか。

答 町長 医療が無くなればその地域は生活できなくなる。医療機関は地域の生命線、相互の信頼関係を築くこと。しっかりと理解した中で存続のために頑張っていきたい。

答 公設公営については、現在作業を進めているため結論として理解いただきたい。その他については最終報告後、議会と相談し進めたい。

答 町長 東栄町から医療を無くすという事は考えていない。残すために今皆さんと話し合いをしている。

答 町長 東栄町から医療を無くすという事は考えていない。残すために今皆さんと話し合いをしている。

せせらぎ会との間にどのような経過があり、公設公営に転換する事になったのか伺いたい。

問 郡町村会では、この中間報告をどの様に受けとめているか伺いたい。

問 県は医師、看護師の養成を行っている。又国策である地方創生の活用や過日の国政選挙の折にも「東

答 住民福祉課長

答 住民福祉課長

問 病院の段階的縮小、無床診療所といった表現はいささか安易過ぎではないか。

医師の当直体制、看護師の確保など来年度以降も現状の厳しさは変わらないと町もせせらぎ会も

10月4日郡医療等に関する協議会を開催し、内

病院長

10月4日郡医療等に関する協議会を開催し、内

病院長

病院長

病院長



東 栄 病 院

加藤 彰男 議員

子どもの「こころ」「暮らし」に寄り添う支援のあり方

問 情報通信技術として「ICT」と言

われるように急速に情報化が進む中で、「子どもの生活」が変わるだけでなく「子どもたちの心」の変化にもどのように対応するかが大きな課題である。「まちの未来を担う子どもたち」を支える施策が必要である。

①「スクールカウンセラー」ともに、子どもや保護者の暮らし・生活も含めて相談できる「スクールソーシャルワーカー」の対応が必要ではないか。

②情報ツールや情報サービスへの理解や対応、さらにそのリスクなども含めた学習の場が学校や保護者・地域で必要ではないか。

答 教育課長

現在、児童生徒に重大

な問題はなく、小中学校と協議の上、慎重にスクールソーシャルワーカーの対応について検討したい。ICTは教育分野でも重要であり、必要に応じて学校や保護者も含めた学習も考えていきたい。

問

現在週1回・午前中は中学校・午後スクールカウンセラーが来ているが、充分対応出来ているか。

答 教育課長

中学校では全校生徒対象のカウンセリングの時間が十分に取れていない。小学校でも児童と教員のカウンセリングが主で保護者との面接希望日の調整が取れないなど問題がある。校長会でも時間を増やして欲しいとの要望がある。

問

今後はもうひと回り大きい支援としてスクールソーシャルワーカーへの対応が必要ではないか、県は市町村へスクールソーシャルワーカーの費用の3分の1（上限80万円）を補助して進

町斎苑・斎場の施設・運用の改善について

問

現在、東栄町では年間90名前後の方が亡くなられ、その多くの方の葬儀が町の斎苑で営まれている。また町内では一人暮らし・ふたり暮らしの方が増え、都市に住む子どもたちが営む形の葬儀も増えている。都市の葬儀場のように「霊柩搬送から通夜・告別式」が普通になり、町の斎苑・斎場のあり方も見直していく必要がある。

答 教育課長

今後、問題が多数出てきた場合などにスクールソーシャルワーカー導入を検討していきたい。

答 住民福祉課長

斎苑の施設は利用者の意見を聞いて対応しており、大規模な整備等は考えていないが、必要に応じて対応したい。施設への対応も適切に対応できている。

問

斎苑は老朽化や耐用年数の問題もあるが、特に休憩棟の「トイレの狭さ」「和室（畳）の使い勝手」「シャワー設置」はどうか。

答 振興課長

指摘のとおり。斎苑関係は現在の総合計画のなかに入っていない。

答 住民福祉課長

休憩棟のトイレは、狭いので対応する方向で考えている。また和室の畳の問題は高齢者の方が増えて休憩するのに大変、たという問題もあり、意見を見極めてどう対応するか考えたい。

問

斎苑・斎場の今後計画は町の総合計画に入っているのか。



町斎苑（ホールと休憩棟）

病院の公営化について

問 病院の公営化は決まっているのか。

答 住民福祉課長

公営化の最終判断は8月にせせらぎ会と懇談し、その時に町として判断、9月の議会全員協議会で報告した。

問 報告以後、協議事項等で病院公営化について議会に議論を提案したことはあるか。

答 町長

8月に病院と懇談会の席で判断し、9月に議会に報告した。議会が意思決定する状況はなかったが、半年時間が経過しており当然認識していると思っている。

問 町政は二元代表制で町長は提案と事務の執行を行い、議会は決定する。今の議会が初めて決定する行為になるが、決定前に職員採用の面接を行っているか。

答 住民福祉課長

行政の部分で決定し、準備行為で面談した。

問 決定前の職員採用面接は「行政の暴走」である。病院の人件費率は95%余であるがこれは正常か。

答 住民福祉課長

自治体病院の平均は66%余で、看護体制ができなかったことで診療収入が少ないことの一つの原因と思う。



東栄病院

問 患者数に見合った職員数であれば病院経営は可能だと思うが、職員が多く、給与も高すぎないか。多額の経営補てん金を支払うための経営判断を行ったか。

答 住民福祉課長

将来病院は無床診療所にする考え方があるようだが、決定前に現行規模の職員を採用すると、その先職員をどうするつもりか。

細かな分析は行っていない。

問 将来病院は無床診療所にする考え方が

があるようだが、決定前に現行規模の職員を採用すると、その先職員をどうするつもりか。

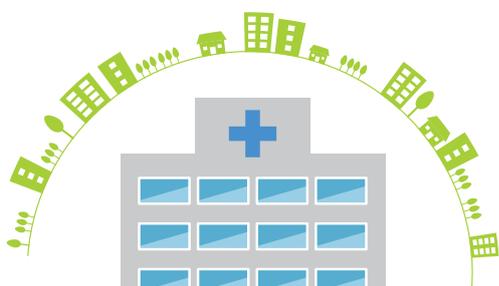
答 住民福祉課長

決定の考え方は、行政的な部分で決定したと思っている。準備行為は議

案の附則で議決するようになっており、議決がなければできないが、その予備的な行為として面談をしている。

問 病院の公設化は十分検討して住民に説明が出来るようにし、将来に禍根を残さないような判断をすることを願う。

説明が出来るようにし、将来に禍根を残さないような判断をすることを願う。



視察・研修報告

東 栄町議会は11月6
〜7日に管外視察
研修を行いました。

東三河消防通信指令セ ンター・豊橋市消防署

東三河消防通信指令セ
ンターは、東三河8市町
村の119番通報を受信
し、消防車・救急車を出
動させる業務を行って
います。私たちも実際に模
擬の119番通報を行い、
場所の確定から出動要請
までの過程を学びました。
また、併せて豊橋市中
消防署の視察も行い、東
日本大震災での教訓を踏
まえ、総務省消防庁から
配備された拠点機能形成
車両の説明をいただきました。

大治町・大治町議会

大治町と東栄町は平成
29年に「友好自治体宣言」
を締結しています。総合
福祉センター、スポーツ
センター等の視察と併せ、
大治町議会とも議会運営

や議会改革等の意見交換
を行いました。

NPO法人プレママ クラブ

特定非営利活動法人プ
レママクラブが運営して
いる3保育園を直接理事
長の案内で視察しました。
当町も現在新保育園建設
に向けて進めていること
もあり、理事長からは細
かい点についても大変参
考となる説明をいただき
ました。
今回の視察研修した結
果を今後のまちづくり
に活かしていきたいと思
います。



西條小切戸川排水機場 (大治町)

平成30年3月定例会の開催日程(予定)



3月定例会は、
**3月8日(木)から
3月19日(月)**
までの会期で
開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますので
ご了承ください。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせ
ください。

3月 8日(木)	本会議 (提案説明・質疑・委員会付託)
3月 9日(金)	一般質問
3月12日(月)	予算特別委員会
3月14日(水)	文教福祉委員会
3月15日(木)	総務経済委員会
3月19日(月)	本会議 (委員会報告・討論・表決)

編集後記

東栄病院せせらぎ会より「指
定管理を3年から1年にして
欲しい」との通告から、月日
は残すところ後3か月となっ
てしまった。崖っぷちの選択
ではあるが、町は公設公営と
いう選択をして、とにかく地
域に病院を残して住民の皆さ
んの健康を守る福祉政策を進
めようとしている。

今後の成り行きは未だ予断
を許さないが、皆さんと共に
今後の東栄町の福祉について
真剣に取り組みなければなら
ない。
また、協働によるまちづく
りの基本条例の作成も多くの
皆さんのご協力で順調に進み
12月の議会で承認され、4月
には施行の運びとなった。4月
にはいろいろな考え方や意見が
反映されて、行政や議会、そ
して地域で活動している団体
・個人が、まちづくりのため
に協力する仕組みを作り、活
力のある東栄町をつくるとい
うものである。
小さな町だからこそできる、
住む人の顔がわかり、お互い
に協力し、助け合って暮らす
ことができる「まちづくり」
は、正に私たち一人ひとりの
考え方と行動で決まってい

編集委員会

委員長 山本 典式
副委員長 森田 昭夫
委員 伊藤 久代
委員 村本 敏美
発行責任者 伊藤 芳孝



とうえい議会だよりは、エコマーク認定の再生紙と
環境に優しい植物油インクを使用しています

発行/東栄町議会・議会だより編集委員会

〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505